



日本ピグメント株式会社

2024年3月期 第2四半期 決算説明資料

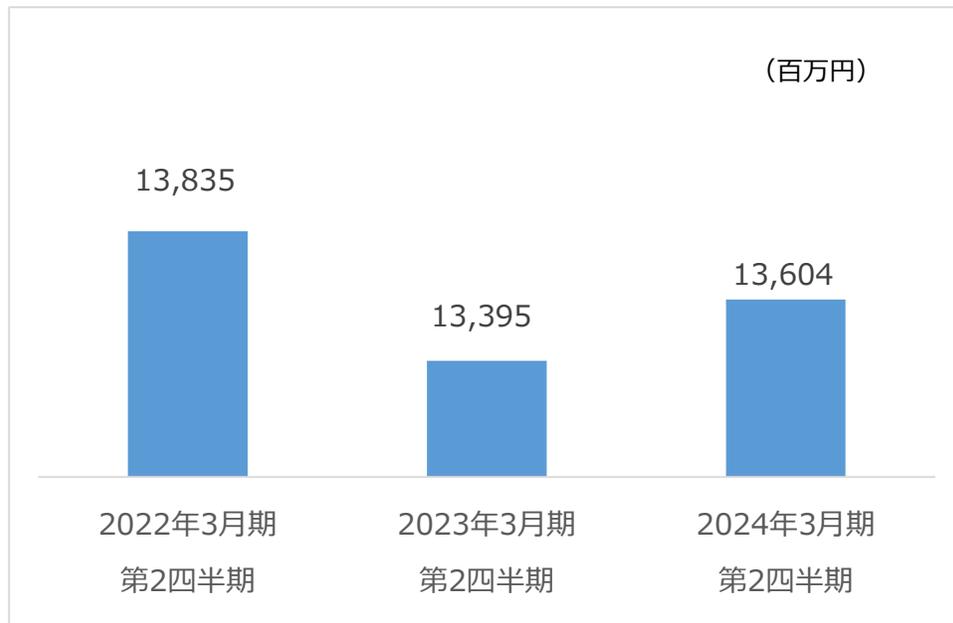
2023年11月10日

日本ピグメント株式会社

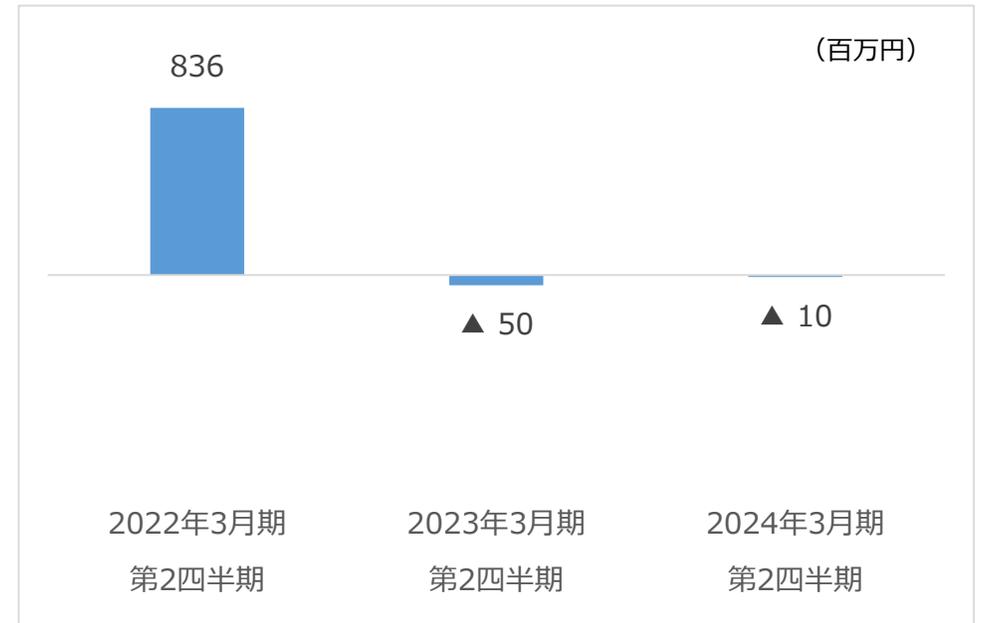
2024年3月期 第2四半期業績ハイライト

売上高は前年同期比増加
国内販売の低迷、製造コストの高止まりもあり、営業損失を計上

売上高



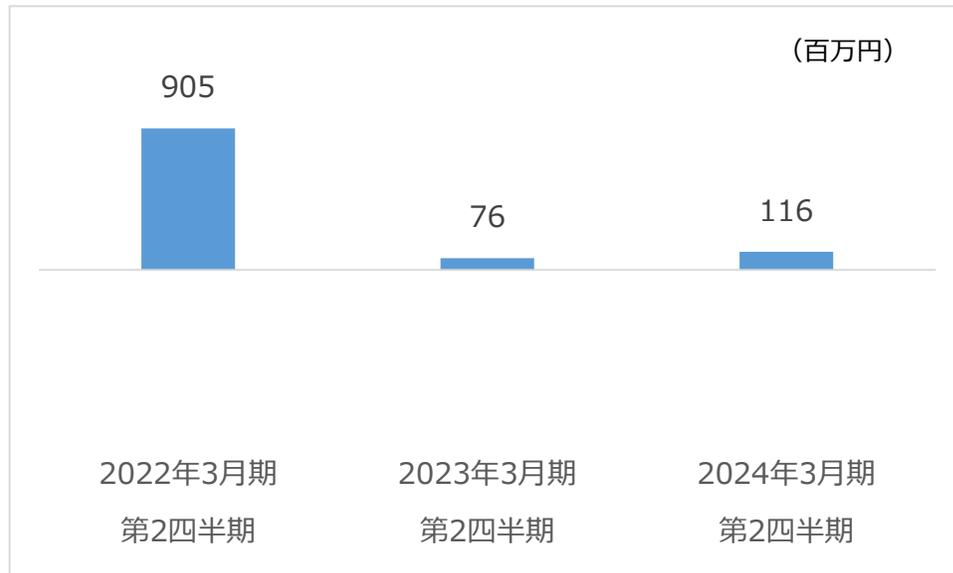
営業利益



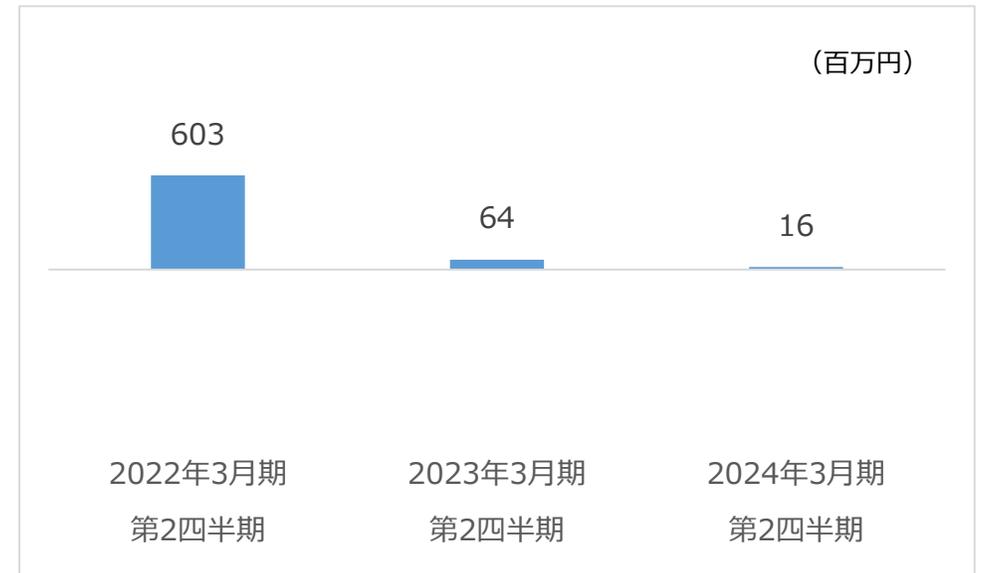
2024年3月期 第2四半期業績ハイライト

経常利益は前年同期を上回ったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比で減少

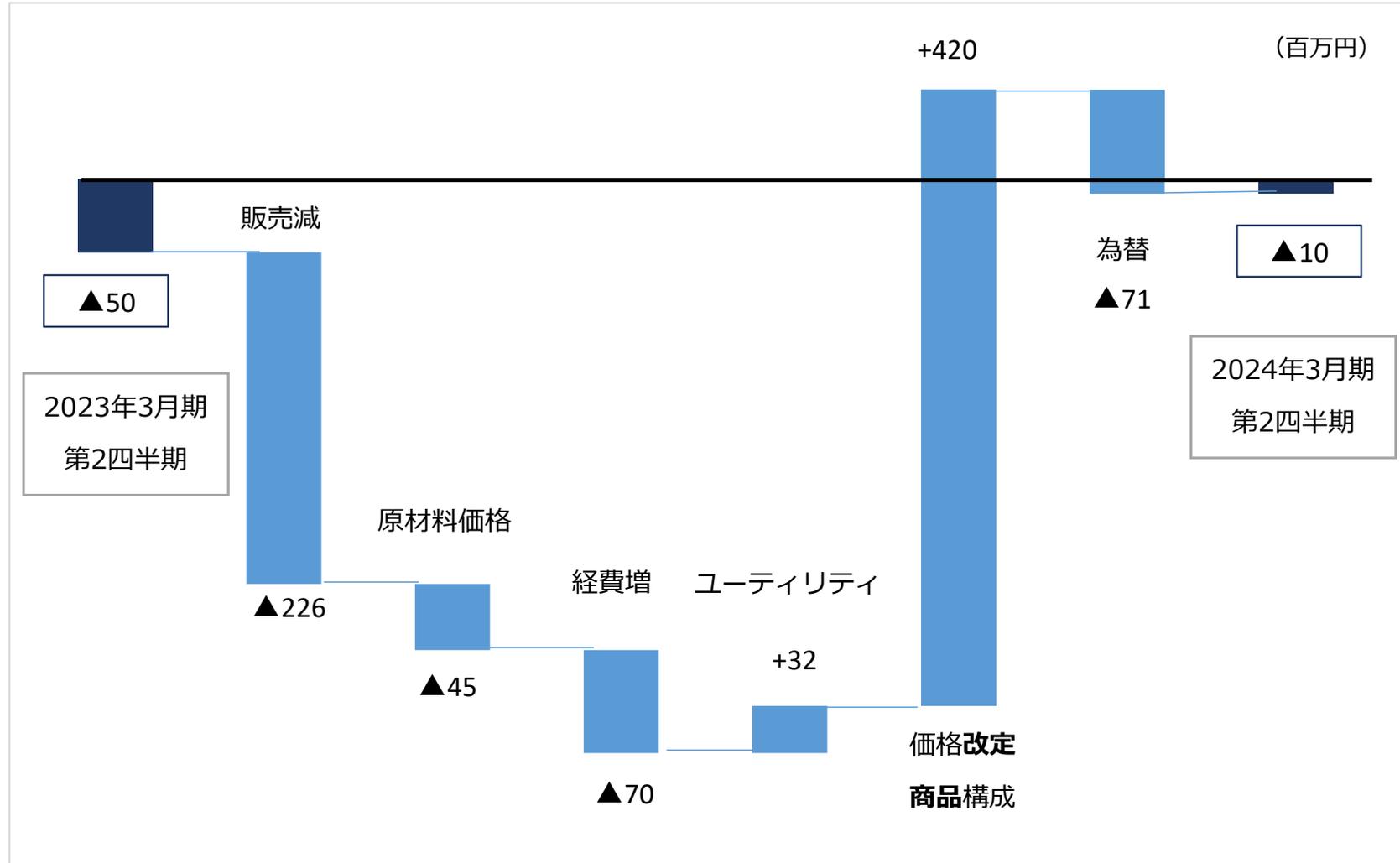
経常利益



親会社株主に 帰属する 四半期純利益



2024年3月期 第2四半期 連結営業利益の増減要因



2024年3月期 第2四半期 セグメント別実績概況

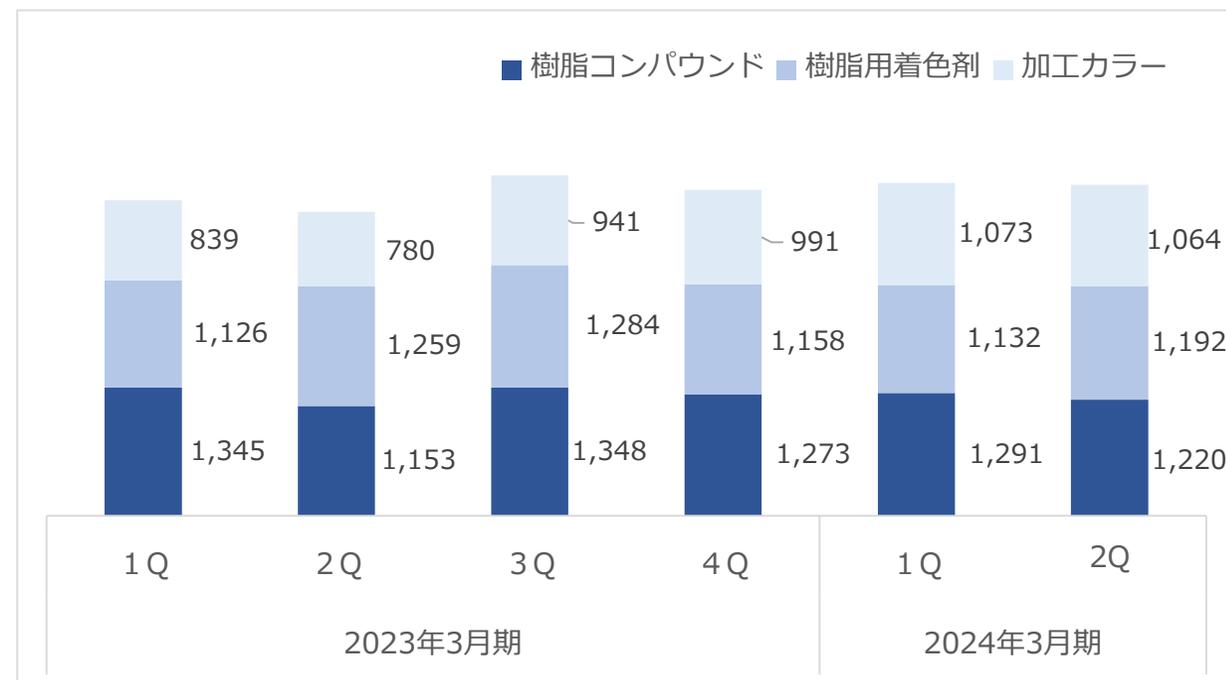
① 日本

○ 自動車向けの樹脂関連需要は底入れの兆しも、本格的な回復には至らず、樹脂コンパウンド販売の低迷が継続

- ・エンジニアリングプラスチックの在庫調整継続もあり、樹脂コンパウンド部門の売上は横ばい
- ・樹脂用着色剤部門は、自動車向け、化粧品向けの回復も、フィルム向け需要低迷が継続し売上減
- ・大型液晶パネル用途向け等の液体分散体需要は、中国ロックダウン前の水準近くに回りつつあり、販売増。加工カラー部門は前年同期比売上増

【セグメント別売上高の推移】

(百万円)



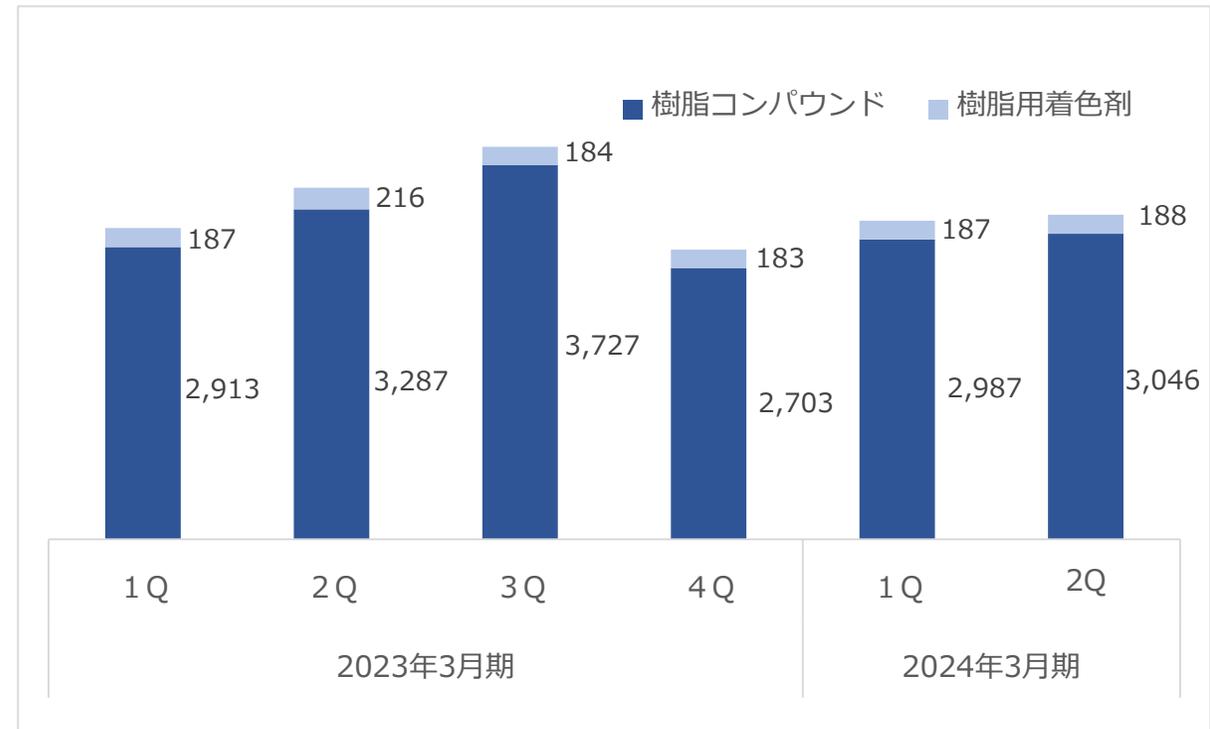
2024年3月期 第2四半期 セグメント別実績概況

② 東南アジア

- 中国をはじめとする各国での需要低迷の影響から販売は低調。為替影響があったものの、売上は前年同期比減少
 - インドネシアは良好な内需を反映し、販売は堅調
 - その他東南アジア域内需要は中国向け需要低迷の影響、OA関連需要減などにより販売が減少

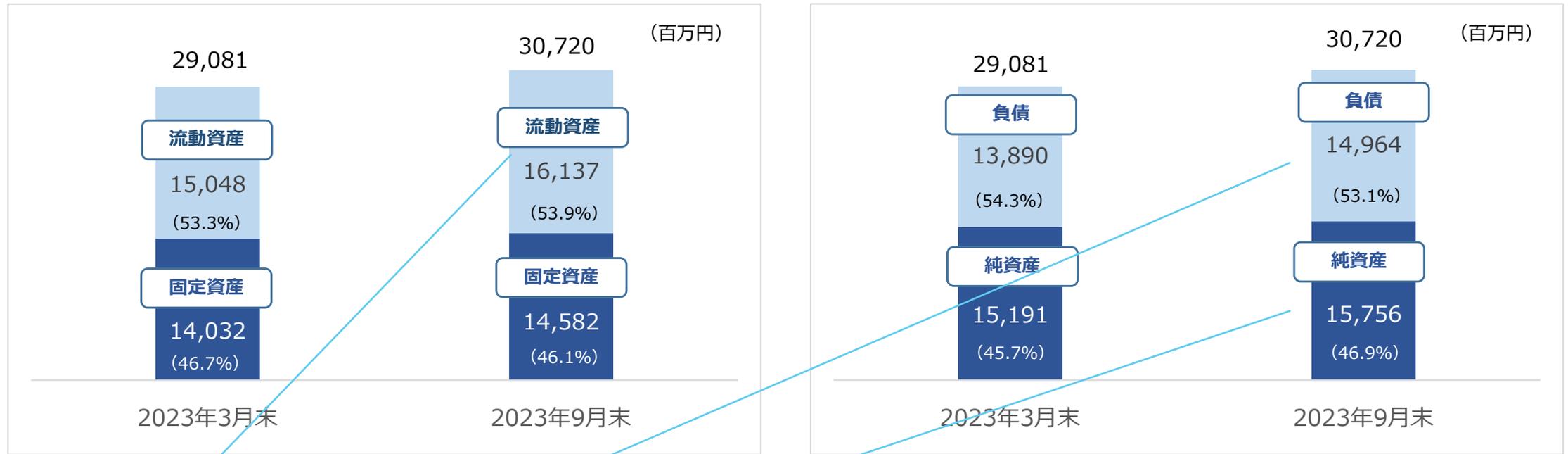
【セグメント別売上高の推移】

(百万円)



(*) 2023年3月期第4Qについては為替影響により円貨ベースでの売上高は減少

連結貸借対照表等の概況



- 資産**
- 現金及び預金の増加
 - 投資有価証券の増加
- 負債**
- 支払手形及び買掛金の増加
 - 長期借入金の増加

- 純資産**
- その他有価証券評価差額金の増加
 - 為替換算調整勘定の増加
- D/Eレシオ**
- 0.42 (2023年3月末 0.45)



連結損益計算書の概況

	23年3月期	第2四半期	24年3月期	第2四半期	(百万円) 増減率
売上高		13,395		13,604	1.6%
売上総利益		1,522		1,645	8.1%
販管費計		1,572		1,655	5.3%
営業利益		▲ 50		▲ 10	-
営業外収益計		206		172	▲ 16.4%
営業外費用計		79		46	▲ 42.4%
経常利益		76		116	52.6%
特別利益計		26		1	▲ 97.5%
特別損失計		0		1	151.0%
税金等調整前四半期利益		101		115	13.6%
法人税等計		16		58	250.2%
四半期純利益		85		56	▲ 33.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益		64		16	▲ 75.2%

2024年3月期の事業環境見通し

- ウクライナ、中東などの地政学的リスクの増加、中国国内需要回復の不透明感継続など、外部環境は、引き続き厳しい状況が継続する見通し

日本

- 国内の自動車向け需要は2023年下期の回復を見込む。一方、エンジニアリングプラスチックなどでのグローバル需要の低迷継続、製造関連コストの高止まりなどへの対処を、より一層のスピード感をもって推進
 - ・ 樹脂コンパウンド部門は、国内での売上回復を見込む
 - ・ 樹脂用着色剤部門は、自動車、建材関係は堅調推移。フィルムなどでの販売増を目指す
 - ・ 加工カラー部門は、大型パネル用途向け需要は底堅く推移の見込み。建材向け用途等、内装材関連等での販売増を目指す

東南アジア

- 中国内需の回復の遅れ、原材料価格の高止まり等のマイナス要因は継続。インドネシア国内向けなど東南アジア地域での販売増強による収益確保を目指す

(ご参考) 事業セグメントと主要製品

樹脂コンパウンド	樹脂用着色剤	加工カラー
 <ul style="list-style-type: none"> ・強化樹脂コンパウンド ・難燃性コンパウンド ・帯電防止コンパウンド ・導電性コンパウンド 	 <ul style="list-style-type: none"> ・カラーマスターバッチ ・機能性マスターバッチ <ul style="list-style-type: none"> － 紫外線吸収マスターバッチ － アンチブロッキング性マスターバッチ － 帯電防止性マスターバッチ － 抗菌性マスターバッチ － 保温性マスターバッチ － 耐傷付性マスターバッチ － 長期耐熱性老化防止マスターバッチ 	 <ul style="list-style-type: none"> ・樹脂用加工顔料 ・高分散型液体分散体 <ul style="list-style-type: none"> － カラーフィルター用、インクジェット用顔料分散体 － 環境負荷の少ない水性インキ及びそのメジウム（クリヤー液剤）などの顔料分散体

- 本資料は、投資家の皆様に会社内容の理解を深めていただくための資料であり、投資勧誘を目的としたものではありません
- 記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、及び当社が合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません
また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります

色のプロフェッショナルとして100年 -since1925-



日本ピグメント株式会社